

vol.2：地域資産に向き合う設計活動 ～地方都市を基点に建築家ができること～



歴史的水路「御殿堰」の再生
©Shigeo Ogawa



山形霞城どうぶつ医療センター ©Shigeo Ogawa



九華山下山鳴台 ©E-ar X TARS

TDA では、年間テーマを「地域にあるものを活かすーそれぞれの現場からー」と定め、身近な地域の資源を生かした個人・小組織の取り組み、とりわけ若い活動主体による「地域にあるものを活かす」試みに着目した連続セミナーを開催する。

ここで取り上げるのはいずれも、地域・まちへの想いに裏付けられ、気負いなく自然な気持ちを出発点とした地域密着型の持続的試みである。

時間とともに、これからの長期的、広域的なまちの再生にジワリと効いてくる…そんな事例となるであろう。

□ イベント概要

建築家・矢野英裕氏は、安藤忠雄建築研究所を経て10年前に独立、山形市で空間芸術研究所を主宰している。民間事業において、埋もれていた疎水を顕在化する試みを行い、建物竣工数年後に、自治体からその周辺の都市景観整備事業の監修依頼を受けることとなった「歴史的水路『御殿堰』の再生」は日本造園学会奨励賞を受賞した。また、矢野氏は地方都市に拠点を構えながらも、県外や海外でも場所の魅力を引き出す仕事を展開している。

中国安徽省の古村落で設計した「九華山下山鳴台」はグッドデザイン賞を受賞するなど、地域に根差しながら、それにとどまらない幅広い、環境づくりに関わる活動をおこなっている。

今回のセミナーでは、地方から発信する建築・都市デザインの可能性や課題について議論したい。

□ 開催日時

2025年7月26日(土)
15:00～17:00 レクチャー
17:30～19:30 懇親会(有志のみ)

□ 会場

YS ポール 本社会議室
(東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング19F)

□ 講師

矢野英裕氏 空間芸術研究所 代表
<https://vectorfield.net/>
東北公益文科大学特任准教授

□ 参加費

TDA 会員(団体賛助会員社員・会員含) 500円
一般参加 1,000円
学生無料
(懇親会別途4,000円程度を予定)

□ 申し込み・定員

<https://forms.gle/LKiq8YcsoUWMDQ3W9>
QRコードからもお申し込みできます。
(申込期限2025年7月18日)
定員20名に達し次第締め切ります。



主催：特定非営利法人 景観デザイン支援機構(TDA)
協力：YS ポール株式会社